

事業所名

ラルゴKIDS 荒川

## 支援プログラム（参考様式）

作成日

令和7年

3月

20日

法人（事業所）理念		『子どもたちの「できた!」を増やす』ために、運動を通して一人ひとりにカスタマイズした支援を提供します。									
支援方針		子どもたちの笑顔と自信をラルゴKIDSで育てていきます。たくさんの『できた』を積み上げていき、子どもたちが自信を持ち、社会の中で自立することを目指して支援をおこなっていきます。運動療育に特化したラルゴKIDSでは、身体の発達（運動機能）だけでなく心の発達（認知機能）やことばの発達（言語機能）を促していきます。									
営業時間		平日 祝学校休業日	14 10	時 00	分から 00	18 16	時 00	分まで 00	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容											
本人支援	健康・生活	○整容、排泄、着脱、食事、準備片付けに関するプログラムを実施 具体例：健康チェック、通所、帰宅時の身だしなみ、清潔感の確認、スケジュールや手順提示。通所時、帰宅時の準備片付け忘れ物確認、着替えの手順やボタンを外す支援など									
	運動・感覚	○バルシューレプログラムをアレンジした運動プログラム ○粗大運動、微細運動を用いた感覚統合プログラム 具体例：バルシューレプログラム(100以上の主に粗大運動)、個別活動プログラム(つかむ、ひっぱる、ひねる、つまむ、はめる、つまむ、とおす、はる、ぬる、はめる、はる、こする、描く、切る、など)									
	認知・行動	○ボディイメージ、色彩、空間把握、位置把握、分類、感情・時間、数などの概念などに触れるプログラムを実施 具体例：マッチング、図形、数、色彩、時間に関する個別のプログラムの実施、など									
	言語 コミュニケーション	○自分の思いや要求の適切な伝え方、行動のコントロール、感情のコントロールの理解を進めるプログラムを実施 具体例：運動において小集団での活動、プログラム時の言語活動場面の設定、他者との挨拶、など									
	人間関係 社会性	○適切な人間関係の形成を目指し、役割やルールに応じた他者との共同・集団活動に取り組む。 ○他者の気持ちや意図を理解するためのソーシャルスキル獲得を目指す。 具体例：主にバルシューレを用いた勝敗のあるプログラム設定、他者とのポジティブな関わりのケーススタディ、など									
家族支援		①児童の発達に関する相談・助言など ②支援内容に関する相談・助言など ③家庭生活に関する相談・助言など ④集団生活に関する相談・助言など ⑤きょうだい児に関する相談・助言など ⑥制度に関する相談・助言など				移行支援		○保育所や学校の先生方と、対面、ケース会議、または電話などを通じつ、児童生徒の心身の状況や生活環境などの情報連携を実施する。  ○ライフステージに応じた準備や相談を保護者、関係機関と連携して実施する。			
地域支援・地域連携		○関係する機関と連携し、子どもと家族が安心して地域で生活することを目指して、情報交換や会議等で必要な支援を考えると同時に、地域課題の改善・解決を目指します。				職員の質の向上		○外部研修の受講（年2回ほど） ○事業所内研修（年2、3回ほどの専門研修） ○毎日の職員MTGによる児童生徒理解 ○虐待防止(身体拘束)、事故防止、感染症、防犯、災害、などの各研修			
主な行事等		○季節行事イベント、制作（初詣、節分、お花見、ハロウィン、クリスマス、など） ○長期休暇活動（課外活動、お買い物活動、調理活動、流しそうめん、など） ○避難訓練（年1回～）									